

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

北海道に広がれ 金融広報の輪！

北海道金融広報委員会
鈴木 由香

北海道金融広報委員会の最大の特徴は、担当エリアが日本一広い（面積は国土の約2割強を占め、東京都の約40倍に当たります）ということです。道産子の私でも日々の活動を通じ、あらためて北海道の広大さを実感することが少なくあ

りません。例えば、講演先に一番近い講師にお願いしても行程が2泊3日になってしまったり、初めて耳にする地名での講演依頼を受けることがよくあります。

この広い北海道であまねく金融広報委員会の活動を行うためには、道内各地区の金融広報アドバイザーの皆さんや、北海道庁（本庁のほか14の振興局により所管地域が分割されています）、北海道財務局、道内にある日銀支店・事務所をはじめとする関係団体との連携

強化が重要です。

市民向け講座「知るぽると塾」は、以前は札幌でしか開催していませんでしたが、道内の関係団体と連携して、23年度は札幌、釧路、函館の3都市で、24年度はさらに帯広、旭川を加えた5都市で開催することができました。各都市での「知るぽると塾」の開催は、一般市民の方々への金融知識の普及だけではなく、各地区のアドバイザーと関係団体との連携強化にも繋がりました。

4月からは新たに11名にアドバイザーを委嘱し、25名体制（これもダントツ日本一です）で新年度をスタートします。これからも北海道全地区へ金融広報の輪を広めていくことができてくるよう関係者一丸となって取り組んでいきたいと思っております！



「アドバイザー等研修会」に出席のアドバイザーの皆さんと（後列左が鈴木さん）

目指せ、 知るぽるとレディ!?

山口県金融広報委員会
財津 香織

山口県金融広報委員会の事務局員として、今年で6年目になります。さて、当委員会では、近年新たな企画に力を入れています。23年度からは金融機関との連携イベントとして「子どものためのおかね教室」を、24年度からは「公民館等との

共催講座」を始めました。

この中の「公民館等との共催講座」では、金融広報アドバイザーを講師として地域の方々に金融・経済、生活設計などに関する情報を提供しています。山口県は山陽と山陰など地域ごとに特性がありま

すので、「地域によってニーズもまったく違うはず！」と考え、より地域に近い「公民館との連携」を目指して、23年度に県内の全公民館に対してアンケート調査を行うことから始めました。

このイベントの企画を通じて、や

はり「顔」を合わせて説明する『営業』は重要だと痛感しました。今後も、待つだけでなく、「知るぽるとレディ」と胸を張れるくらい、活発な『営業』も行い、さらに「知るぽると」を県内に広めていきたいと思っております。

